

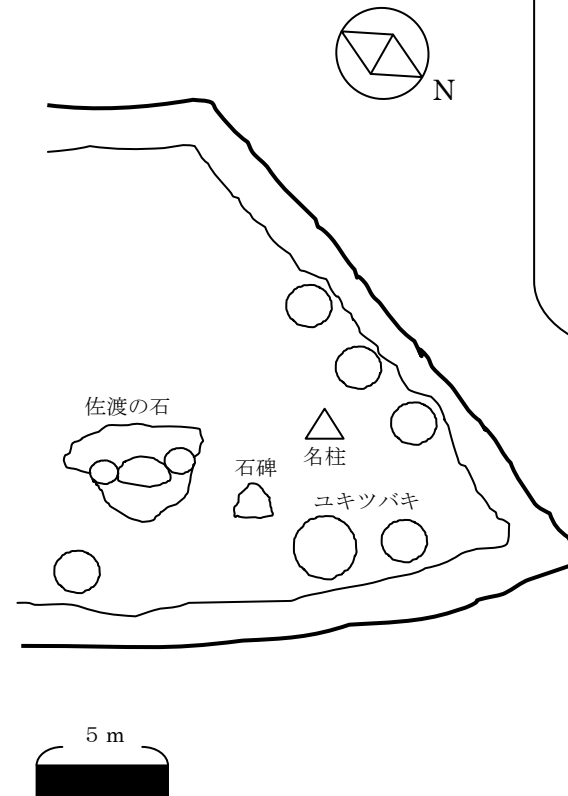
新潟県の森

新潟県は本州日本海側のほぼ中央に位置し、内陸部は越後山脈などの山々がそびえ、信濃川・阿賀野川など多くの河川が日本海にそそぎこみ、広大で肥沃な平野をつくっています。春は花、夏は山の緑・海の青、秋は稲穂の黄金色、冬は一面の銀世界と、四季の彩りに満ちた県です。新潟県の森は、県の木・ユキツバキを配植し、ツツジと佐渡の石をアクセントにして構成されています。



佐渡の石（日本最大の島・佐渡島）

日本海に浮かぶ佐渡島は、総面積 855.1 km²と日本最大の離島です。金の産出で有名ですが、他にも日本三大銘石の佐渡赤玉石をはじめとして、様々な種類の美しい石や鉱石などが数多く見られます。



県の木 ユキツバキ（ツバキ科）

温暖な地域に分布するツバキとは異なり、日本海側の雪の多い地域に自生しています。4月頃深紅の花を咲かせ、雪国に春を告げます。厳しい寒さに耐える逞しい生命力は、県民性を象徴していると言われています。

